

科目名	スポーツトレーナーの役割							年度	2025
英語科目名	Role of the sports trainer							学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科 1 年次	必／選	選 1	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	内田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		
【科目の目的】 （公財）日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの起源や背景に基づき、設立趣旨・位置づけを理解します。また、具体的な役割からアスレティックトレーナーの社会的立場と貢献・倫理についても理解します。スポーツトレーナー（スポーツ指導者）の役割と主な業務内容を十分理解します。									
【科目の概要】 アスレティックトレーナーとは何かを学び、コーチやスポーツドクターとの連携、組織の運営と管理などアスレティックトレーナー業務全般について学びます。									
【到達目標】 A. JSP0-ATの理解 B. 求められるJSP0-ATの役割 C. スポーツ指導者としての理解									
【授業の注意点】 スポーツトレーナーとしてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。「現場実習」と併せて学習することで、より理解力が増すので積極的に実習に取り組む事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 もう少し			
到達目標 A	JSP0-ATの全体像を十分に理解し、自身のキャリアと併せて考えられる		JSP0-ATの全体像を十分に理解できた			JSP0-ATの全体像を理解できた			
到達目標 B	JSP0-ATに求められるレベル等、客観的に分かり、自主的に学ぶ姿勢がある		JSP0-ATに求められるレベルが理解で、自身のマインドセットができた			JSP0-ATに求められるレベルが理解できた			
到達目標 C	スポーツ指導者であると十分に理解で、自身を指導者へなるべく意識が強く持てる		スポーツ指導者であると十分に理解できた			スポーツ指導者であると理解できた			
【教科書】 JSP0-AT教本									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 レポート・平常点									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

